

能讚慶大寺東

KEISAN-NOH

ごあいさつ

「東大寺盧舎那大仏の造願を発願されました聖武天皇のみこころをしのび、大仏様に日本を代表する伝統芸能である『能楽』を奉納することで、共に生きる喜びを表現しよう。」

そのような思いから、春（聖武天皇をおまつりする「聖武祭」の日、例年5月2日）と秋（大詔を発せられた天平15年10月15日にちなみ、例年10月15日）に慶讚能を奉納させていただいて参りました。

盧舎那大仏造願の発願から1279年の時空を超えた現代におきましても、国家の安泰と人々の幸せを願われた聖武天皇のみこころをしのぶことの大切さを、本慶讚能を奉納させていただきますことによって、多くの皆様に伝わりますよう心より願っています。

We have dedicated a NOH to the big BUDDHA to think of the emperor SHOMU, who proposed to build a big BUDDHA in Nara in the 8th century. He decided to carry out such a great project for the sake of calming some confusion caused by plague or disasters that had distressed people in those days. So, now we express our pleasure of life in peace by dedicating noh performance. The reason why noh is chosen for a dedication is it is the most traditional performance in Japan.

Twice a year (2, May and 15, Oct.), Todaiji temple performs noh for dedication. 2, May is the day of festival for emperor SHOMU, and 15, October is the day when the emperor made his desire public. It is 1279 years before when the big BUDDHA was planed to be built. We hope we will have conveyed the emperor's wish for peace and happiness in the nation in the years ahead.

盧舎那仏発願一二七九年

東大寺慶讚能

令和四年五月二日（月）十五時始
於 東大寺ミュージアム金鐘ホール

ご挨拶 前後のいずれかで実施

仕舞

嵐山
羽衣

山下あさの
生一 知哉

梅若雄一郎
井戸 良祐
山田 薫

山中 雅志

能

森山 泰幸

上田 慎也

雲林院 有松 遼一

岡

充 林

大和

貞光 訓義

泉 慎也

山下あさの
塩谷 恵

梅若雄一郎
井戸 良祐
生一 知哉
山田 薫

主催／東大寺慶讚能実行委員会 主管／奈良新聞社

協賛／(株)柿の葉汁本舗 たなか・(株)尾田組・日本料理花鹿・(株)三輪山本

協力／NPO法人奈良能・ひかり装飾株式会社

演目の説明

●能 雲林院 (85分)

芦屋の里に住む公光は、不思議な霊夢を蒙り、都、雲林院にやってきて、今を盛りと咲く桜の枝を手折る。そこに老人が現れ、花を手折ることの良否を論争するが、ともに風流心からと和解する。老人の問いに公光が霊夢のことを話すと、それは業平が「伊勢物語」の秘事を授けようとするものに違いないと告げ、老人は消える。やがて公光の夢の中に業平が現れ、二条后との恋路という「伊勢物語」の秘事について語り、昔を思い返して舞い、姿を消す。

●仕舞 嵐山 (3分)

嵐山へ桜の様子を見に来た臣下の前に花守の老人夫婦が現れ、神木の木陰を清め、嵐山の桜は木守・勝手の二神が影向して守護するのだと語ると、木守・勝手の明神だと正体を明かして消え去る。やがて木守・勝手の二神が現れ舞を舞うと蔵王権現が来臨し、国土の安穏と衆生の済度を誓う。

●仕舞 羽衣 (3分)

漁師の白竜が、三保の松原で美しい衣を見つけ、持ち帰り家宝にしようとする。天人が現れ、それは天の羽衣だから返してくれと頼むが、白竜は国の宝にすると返さない。天人は羽衣なしでは天に帰れず、悲しみに沈む。羽衣を返してくれば天人の舞楽を見せるとの天人の言葉を白竜は疑うが、天人は嘘をつかないと言われ羽衣を渡す。天人は羽衣を身につけ、のどかな浦の景色を謡い。めでたい世を寿ぎ、優美に羽衣をなびかせて東遊の数々を舞うと地上に宝を降らす、やがて霧にまぎれてきえうせる。

●仕舞とは…能のみどころを抜粋して能装束を着けず、紋付袴等で演じる形式をいいます。

●一調とは…謡と囃子のいずれか1つの二人で、能の聞かせどころ。特殊な手組(囃子の演奏パターン)で演じ囃す形態をいいます。

協力 NPO法人奈良能 ひかり装飾株式会社

柿の葉すし本舗たなかは
今年も慶讃能を応援しています。



なら本店

場所:近鉄奈良駅前 行基像噴水前
営業時間:9時30分~19時30分
電話番号:0742-81-3651



ご試食をご用意しております。
ぜひ、お立ち寄りくださいませ。



柿の葉すし。それは奈良・五條の豊かな自然と文化が育んだ伝統の味。
新鮮な鯖・鮭、厳選の良質米、そして薫り高い柿の葉が織りなす自然の美味さ。
家族のご馳走に、贈りものに…。おいしい柿の葉すしなら、たなかです。

「美味しい」を、贈ります。